

各 位

会 社 名 ソースネクスト株式会社
代 表 者 代表取締役社長 兼 COO 小嶋 智彰
(コード番号 4344 東証プライム)
問 合 せ 先 取締役兼 CFO 青山 文彦
電 話 番 号 0 3 - 5 7 9 7 - 7 1 6 5

AI 同時通訳「ポケットーク - Sentio」搭載の人力車 東銀座・歌舞伎座を発着点として走行開始のお知らせ

当社の連結子会社であるポケットーク株式会社(本社:東京都中央区、取締役 代表執行役社長 兼 CEO: 松田 憲幸。以下、ポケットーク社)は、12月4日(木)から12月26日(金)までの間、同社が提供するAI同時通訳「ポケットーク - Sentio」を搭載した人力車が、東銀座・歌舞伎座を発着点として東銀座エリアを走行するプロジェクトを行なうことを、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 概要

本プロジェクトは、訪日観光客の増加に伴い顕在化する「言葉の壁」という社会課題に対し、人力車の乗車という伝統文化体験を多言語で楽しめる、日本初の取り組みです。

人力車に搭載したAI同時通訳「ポケットーク - Sentio」により、俵夫と訪日旅行者の会話を41言語でリアルタイムに通訳し、文化的背景や地域の歴史、街の魅力を旅行者の母語で伝えることが可能となります。地元に根ざす俵夫にとっても、多言語対応の負担を軽減しつつ、自身が伝えたい文化や街の物語をより豊かに届けられる利点があります。「伝統文化を案内する人」と「体験する訪日客」の双方にとって「言葉の壁」のないコミュニケーション環境を実現します。



2. 背景

日本への訪日観光客数は過去最高水準に達しつつありますが、多言語対応の課題は未だ解消されていません。歌舞伎をはじめとする伝統芸能や下町の文化体験では、訪日観光客との「言葉の壁」が原因で、十分な理解が得られないという課題が続いています。多言語対応を求められる場面が急速に増えるなか、文化施設や観光事業者には、これまで以上に高度なコミュニケーションが求められています。現場では対話の質を高めるための工夫が進む一方で、訪日客の多様化に伴い、より幅広い言語で文化を伝える新たな手段が必要とされています。

こうした社会課題を背景に、本プロジェクトでは、東銀座の象徴である歌舞伎座とポケットーク社が提供するAI同時通訳技術を組み合わせ、伝統文化と多言語対応を両立させることを目指しています。

【 AI 同時通訳 「ポケットーク - Sentio (センティオ)」とは 】

AI 同時通訳「Sentio」は、相手の話す 41 言語を 76 言語の音声とテキストでリアルタイムに通訳して理解でき、まるで専属の同時通訳者がいるように相手の話が分かるサービスです。

ウェブブラウザ上で使用でき、インターネット接続が可能なスマートフォンやパソコン、タブレット端末で使用できます。またオンライン会議だけでなく、対面でも使えることも大きな特長です。

詳細 URL: <https://pocketalk.jp/forbusiness/livetranslation>

3. 今後の見通し

本件による当社グループ業績への影響は、現時点では軽微です。今後、業績に重大な影響を与えることが明らかになった場合は、速やかに開示いたします。

「ポケットーク」は、“言葉の壁をなくす”ことをミッションに掲げ、AI 通訳を個人の利便性を超えた社会インフラへと発展することを目指しています。AI 同時通訳を搭載した人力車の走行は、伝統文化、技術、そして街が連携する新しい観光のかたちを検証する第一歩になると考えています。

今後も、日本の観光価値向上に貢献してまいります。

以上